

令和4年度第2回社会福祉審議会  
審議事項ア「社会福祉施設等施設整備費  
国庫補助金（令和5年度当初分）協議優先  
順位について」概要

令和5年2月

## 目 次

### 【整備区分S】

- ・ 特定非営利活動法人幸伸（ふくわうちグループホーム（仮）） . . . P 1
- ・ 社会福祉法人敬仁会 . . . P 5
- ・ 社会福祉法人光生会（米子ワークホーム） . . . P 9

### 【整備区分B】

- ・ 社会福祉法人敬仁会 . . . P 13

障害者(児)施設整備計画協議書

都道府県(市)名		鳥取県		優先順位	位	施設建設地	鳥取県米子市福市907-1.907-2		
事業(施設)種別		共同生活援助				整備区分	創設		
施設名	ふくわうちグループホーム(仮)			設置主体	特非 幸伸				
現在定員	通所定員	人		通所定員	人		着工	予定年月	
	入所定員	人		入所定員	人		2023年		2月
	日中活動部門	人		日中活動部門	人				
	施設入所・宿泊型部門	人		施設入所・宿泊型部門	人		竣工	予定年月	
	共同生活援助(身体・知的・精神)	人		共同生活援助(身体・知的・精神)	18人		2023年		12月
	障害児施設( )	入所定員	人	障害児施設( )	入所定員	人	発達障害者支援センター	有(無)	
		通所定員	人		通所定員	人	エレベーター等設置整備	有(無)	
	短期入所(加算も記載)	人		短期入所(加算も記載)	4人		相談支援	有(無)	
	小規模グループケア定員数	人		小規模グループケア定員数	人		障害児相談支援	有(無)	
	その他( )	人		その他( )	人		居宅介護	有(無)	
						保育所等訪問支援	有(無)		
対象経費の実支出予定額	構造	事業費	区内	区分計					
				工事費(購入費含む)				143,000,000円	
				工事事務費				3,718,000円	
				小計				146,718,000円	
				解体撤去				円	
				仮設施設				円	
小計				円					
対象経費の実支出予定額						146,718,000円			
国庫補助所要額	都道府県(市)補助(予定)額						66,600,000円		
	国庫補助基本額						66,600,000円		
	国庫補助所要額						44,400,000円		
財源	国補助	庫金	県(市)補助金	設置者負担金				計	
				機構借入	寄付金	県(市)単独補助	地元市町村単独補助		その他(自己資金)
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	44,400	22,200	42,000		22,200	4,440	11,478	80,118	
障害福祉圏域の状況	障害保健福祉圏域名		西部		人口	226,275人	障害者数	16,550人	
	現在の入(通)所施設定員数			537人		現在の入(通)所施設利用者数		537人	
	整備後の入(通)所施設定員数			559人		現在の入(通)所待機者数		人	
建設用地	用地の種類	所有者	面積	用地所有者からの取得形態(取得状況)			手続状況		
	宅地	当法人理事の親族	1,004㎡	取得済・無償譲渡(無償貸与)有償貸与[年額 千円]・購入予定			契約済・確約書を入力		
			㎡	取得済・無償譲渡・無償貸与・有償貸与[年額 千円]・購入予定			契約済・確約書を入力		
	(特に住宅地から遠距離でないなど、施設の立地条件としてふさわしい事項等)						排水路関係	問題無し	
	住宅街に位置し、1km圏内にクリニック・商業施設等利便施設が複数営業されており、米子市人口重心地から5km、米子南ICから1.5kmと各方面からアクセスしやすい立地であること、就労継続支援B型、包括型グループホーム(2023年1月開所予定)、訪問介護事業所も近隣に存在するエリアである。土地所有者は本法人理事の親族であり、土地使用については了承を得ている。						進入路関係	問題無し	

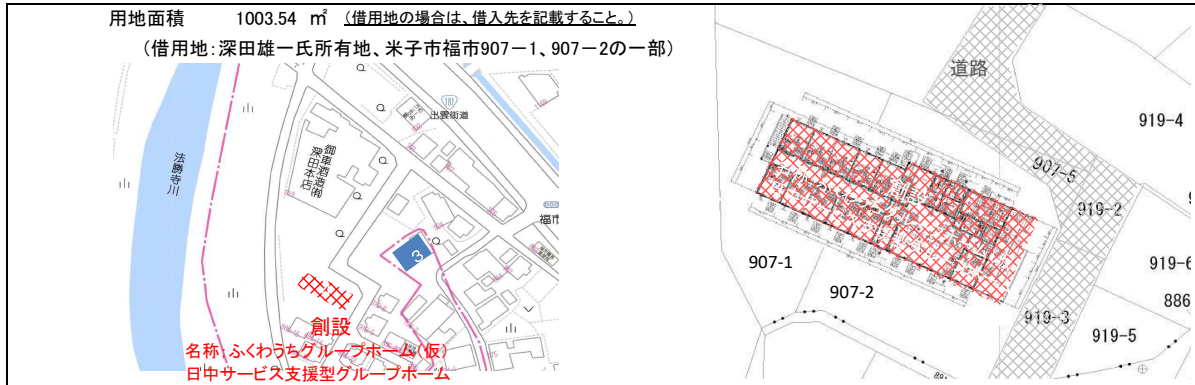
## 施設の配置図及び施設の経歴

都道府県市名	鳥取県米子市
法人名	特定非営利活動法人 幸伸
施設名	ふくわうちグループホーム(仮)

(A) 沿革(施設の発足から今日に至るまでを簡単(簡条書き)に記載すること。)

- ・ 平成23年、NPO法人を創設、米子市道笑町にて就労継続支援B型事業所を開設
- ・ 平成25年、事業拡大により拠点を上福原に移転、平成26年主たる事業所として旗ヶ崎に新たな事業所を増設
- ・ 令和2年、業務内容精査により上福原拠点を閉鎖、新たに彦名事業所を増設
- ・ 令和4年、米子市福市に新たな事業所を増設
- ・ 令和4年、米子市福市にて、有限会社御車と協力し介護サービス包括型グループホームを新設(申請中)
- ・ 一長く障がい者の方の日中時間帯のサポートをしてきたが、保護者の方、利用者ご本人からの要望も踏まえ、住まい提供も実施。
- ・ さらに、十分な量が提供できていない重度障がい者の方への住まい提供として日中サービス支援型グループホームを実施予定。

(B) 配置図



(注) 整備後の施設配置についても朱書で記入すること。

(C) 施設の経歴

整理番号	建物の名称	構造	所有の状況	延面積(㎡)	入所(利用)定員 18 名 就B利用定員 40 名			説明
					補助 補助金名	の状 年度	況 金額(千円)	
1	レゴリス幸伸 (旗ヶ崎事業所)	プレハブ 2階建	自己所有	75.0	無	平 25		就労継続支援B型事業所
2	レゴリス幸伸 (旗ヶ崎事業所)	プレハブ 1階建	自己所有	21.4	無	平 26		就労継続支援B型事業所
3	レゴリス幸伸 (福市事業所)	木造平屋	賃貸	144.2	無	令 4		就労継続支援B型事業所
4	ふくわうちグループホーム(仮)	木造2階建	自己所有	494.4	社会福祉施設等 施設整備費補助 金	令 4	44,400	創設
5								
	合計			735			44,400	

(注) 1 配置図及び経歴は、記載例のとおり詳細確実に記入すること。

2 今回協議部分は朱書し、一見して他と判別できるようにすること。

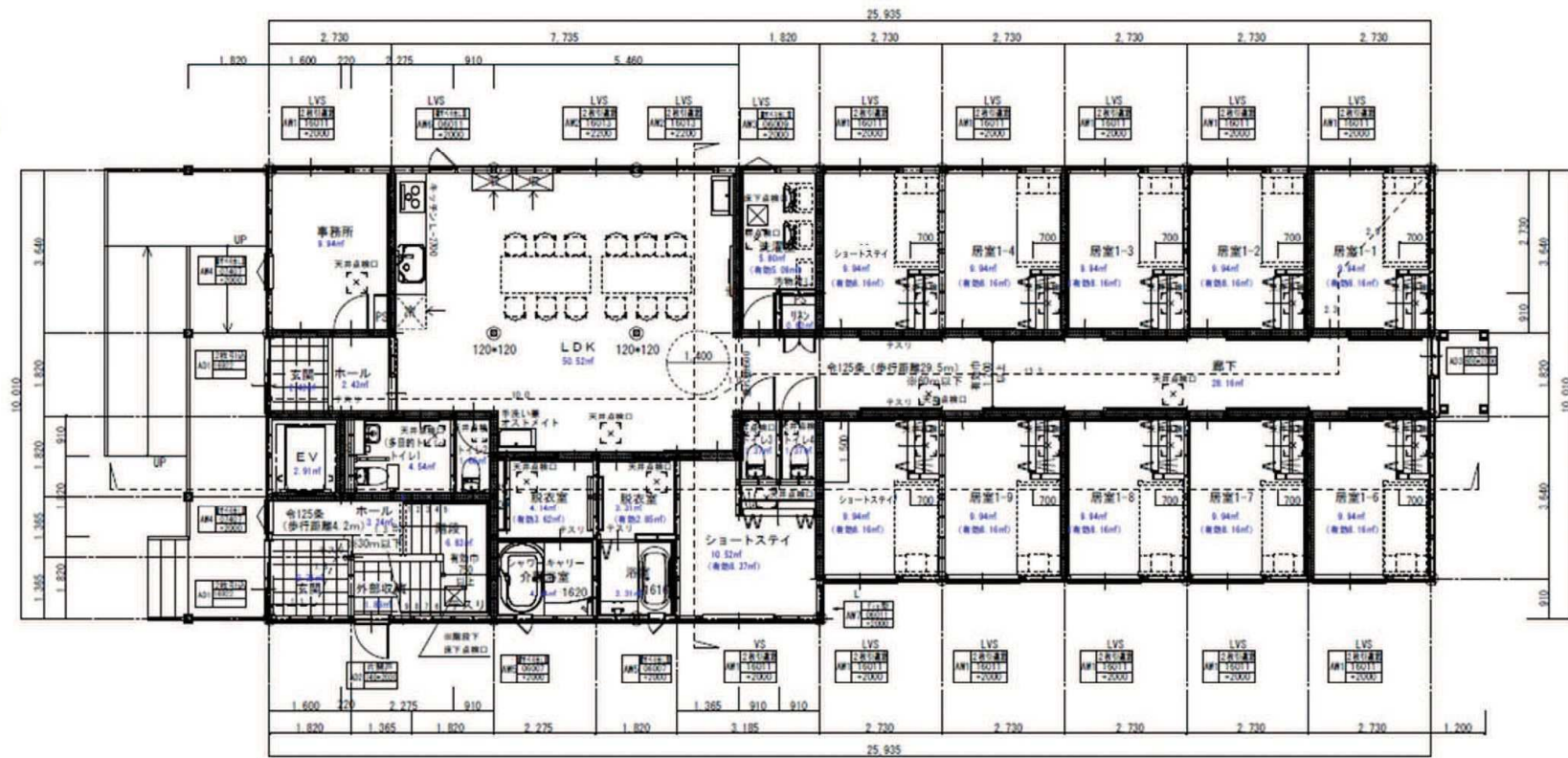
(D) 用地の状況(洪水浸水想定区域・地すべり防止区域等危険区域内である場合は、その名称、指定年月日及び防災措置の状況を記入すること。)

建築予定地は、日野川・法勝寺川の両河川が氾濫した場合、0.5m未満～5m未満の洪水浸水想定区域である。(令和4年1月更新米子市洪水ハザードマップ)  
 周辺自治会とともに、約1km離れた避難所(埋蔵文化財センター)への迅速な避難訓練や、  
 防災に関して自治会・周辺住民との意見交換を定期的に行い、災害場面での対応を準備する。

## 令和4年度社会福祉施設整備事業計画書

審査会	令和4年11月17日審査		
施設名	ふくわうちグループホーム(仮)	施設種別	共同生活援助
(現所在地) 建設予定地	鳥取県米子市福市907-1,907-2	整備区分	創設
民間補助金の有無	有 <del>(無)</del> (有の場合は、国庫補助とのすみ分けを示す色分け平面図)		
施設整備を必要とする理由	<p>1. 施設の必要性の調査など実態把握に基づく整備の必要性                  (待機者の状況、在宅サービスの活用状況等当該施設の整備が必要であるとする客観的理由を具体的かつ簡潔に記載すること)</p> <p>『鳥取県障がい者プラン』『米子市障がい者支援プラン 2021』にも記載のある、“高齢化、重度化、行動障害等にも対応できるグループホーム”・“障がい者の家族等が休息(レスパイト)できるよう短期入所”といったサービスの充実に寄与する事業である。</p> <p>2. 整備予定地の選定理由                  (施設の分布状況、用地確保状況、関係市町村意見及び地域住民の意見等の調整状況などを踏まえて、当該施設の整備が必要であるとする客観的理由を具体的かつ簡潔に記載すること)</p> <p>鳥取県西部地区においては、北側は米子市夜見、米子市富益、南側は南部町2カ所に日中サービス支援型グループホームが運営されている。本申請の建築予定地である米子市福市は、その南北では中央付近に位置し、住宅街の用地で、1km圏内に商業施設等利便施設も複数営業されており、米子市人口重心地から5km、米子南ICから1.5kmと各方面からアクセスしやすい立地であること、就労継続支援B型、包括型グループホーム(2023年1月開所予定)、訪問介護事業所も近隣に存在するエリアである。土地所有者は本法人理事の親族であり、土地使用については了承を得ている。</p> <p>3. 上記の外に緊急に整備を必要とする理由                  「はたらくこと(就労)」「くらすこと(生活)」「たのしむこと(余暇)」をバランス良くサポートすることが、障がい者支援の土台である。就労面では受託作業、施設外就労、自主製品作り等を通して、各利用者様のニーズに応じた作業内容を提供、スキルアップや就労の安定に向けて必要な支援を提供している。今後は利用者様の高齢化、障がい及び疾病の重度重複化も見越して、就労支援で培った障がい者支援(実態把握を元にオーダーメイドの適正な支援の提供を行うこと)のノウハウを活かしながら、生活面や余暇面を手厚くサポートができる事業展開を目指している。同一法人内で様々な障がい福祉サービスを提供することで、重度重複障がいをお持ちの方、または家族様の「できる仕事があればしたい」「他の人と協力しながら仕事に携わりたい」等の思いを実現することが可能となる。</p>		





1階平面図 S:1/100

火気使用箇所はありません。

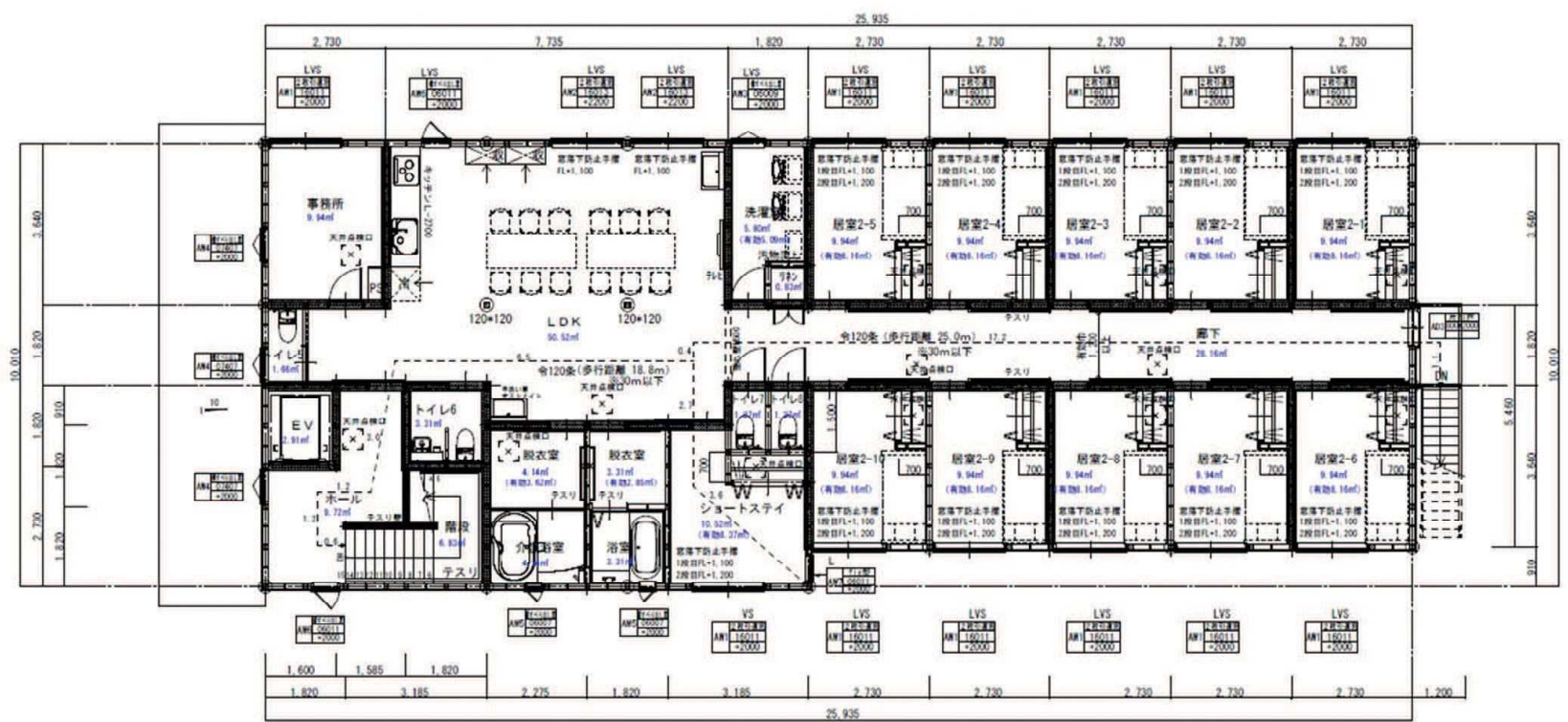
令第114条2項 防火上主要な部材切替  
間隔 石膏ボード 15.0mm 張り

各居室より屋外階段出口及び屋外の出口に至る避難経路上の障子は  
屋内から引きを用いることなく開錠できるものとする。

凡例

- 通し柱 105×105 (高層大壁)  
(一部120×120)
- 鋼柱 (それに準る物種別) 120×120 (高層大壁)
- 管柱 105×105 (高層大壁)

○ 柱位置  
□ 柱位置  
■ 柱位置から天端の高さmm



2階平面図 S:1/100

火気使用箇所はありません。

令第114条2項 防火上主要な部材切替  
間隔 石膏ボード 12.5mm×9.5mm 張り

各居室より屋外階段出口及び屋外の出口に至る避難経路上の障子は  
屋内から引きを用いることなく開錠できるものとする。

凡例

- 通し柱 105×105 (高層大壁)  
(一部120×120)
- 鋼柱 (それに準る物種別) 120×120 (高層大壁)
- 管柱 105×105 (高層大壁)

屋外階段 (mm)			
階段	蹴上	踏面	階段巾
階段	220以下	210以上	900以上
(手すり等の巾100mm未満)			
内部階段 (mm)			
階段	蹴上	踏面	階段巾
階段	200以下	220以上	1,050
(手すり等の巾100mm未満)			

大規模修繕及びスプリンクラー設備等整備計画協議書(全体計画分)

都道府県(市)名	鳥取県	優先順位	位	施設建設地	鳥取県東伯郡湯梨浜町長和田1835-1			
事業(施設)種別	救護施設			整備区分	大規模修繕等			
施設名	ゆりはま大平園		設置主体	福	敬仁会			
現在定員	通所定員	人(現在員)	人	日中活動部門	人	着工		
	入所定員	人(現在員)	人	施設入所・宿泊型部門	人	予定年月	R5年	8月
	共同生活援助	人(現在員)	人	共同生活援助(身体・知的・精神)	人	竣工		
	障害児施設( )	入所定員	人	障害児施設( )	人	予定年月	R5年	11月
		通所定員	人		人	予定年月		
	短期入所(加算も記載)		人	短期入所(加算も記載)	人	その他	発達障害者支援センター	:無
	その他( )		人	その他( )	人	その他	エレベーター等設置整備	:有
対象経費の実支出予定額	区分				計			
	工事費				2,552,000円			
	工事事務費(大規模修繕の場合に限る)				円			
	合計				2,552,000円			
国庫補助基準額と対象経費の実支出額の少ない方の額 × 県補助率					2,552,000円			
国庫補助所要額	都道府県(市)補助(予定)額				1,914,000円			
	国庫補助基本額				1,276,000円			
	国庫補助所要額				1,276,000円			
財源	国庫補助金		県(市)補助金		設置者負担金			
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	1,276	638					638	638

## 施設の配置図及び施設の経歴

都道府県市名	鳥取県
法人名	社会福祉法人敬仁会
施設名	ゆりはま大平園

(A) 沿革(施設の発足から今日に至るまでを簡単(箇条書き)に記載すること。)

平成17年1月21日 救護施設ゆりはま大平園(定員80名) 開設  
現在に至る

(B) 配置図

用地面積 8,854.00 m<sup>2</sup> (借用地の場合は、借入先を記載すること。)

別添、配置図・平面図記載のとおり

(注) 整備後の施設配置についても朱書で記入すること。

(C) 施設の経歴

整理番号	建物の名称	構造	所有の状況	延面積(m <sup>2</sup> )	入所(利用)定員 名			説明
					補助金名	年度	金額(千円)	
1	本館	RC4階	自己所有	3,909	国庫補助金	平 15	452,637	平成17年新築 (令和3年3月1日現在 入所88名)
2	作業棟	鉄骨2階	自己所有	586	国庫補助金	平 15	上記に含む	平成17年新築
3	体育館	鉄骨2階	自己所有	882	国庫補助金	平 15	上記に含む	平成17年新築
	合計			5,377			452,637	

(注) 1 配置図及び経歴は、記載例のとおり詳細確実に記入すること。

2 今回協議部分は朱書し、一見して他と判別できるようにすること。

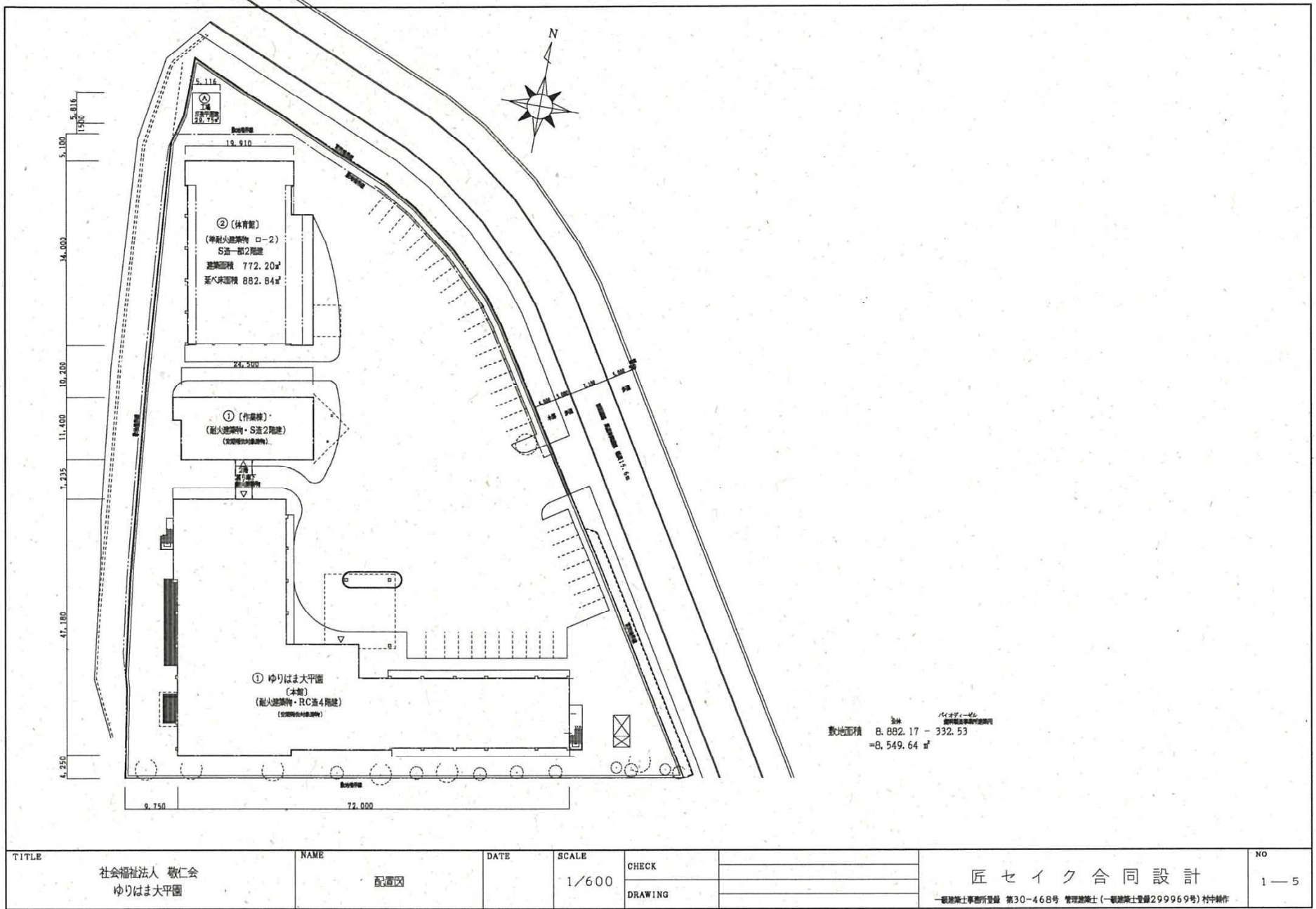
(D) 用地の状況(洪水浸水想定区域・地すべり防止区域等危険区域内である場合は、その名称、指定年月日及び防災措置の状況を記入すること。)

湯梨浜町地域防災計画 令和2年2月改定  
計画規模(1/50年確率規模): 河川氾濫浸水深0m  
想定最大規模(1/1000年確率規模): 河川氾濫浸水深0.5m~3.0m  
台風その他豪雨が予測される場合、情報収集・避難準備を行い必要時には上階に避難する。



## 令和5年度社会福祉施設整備事業計画書

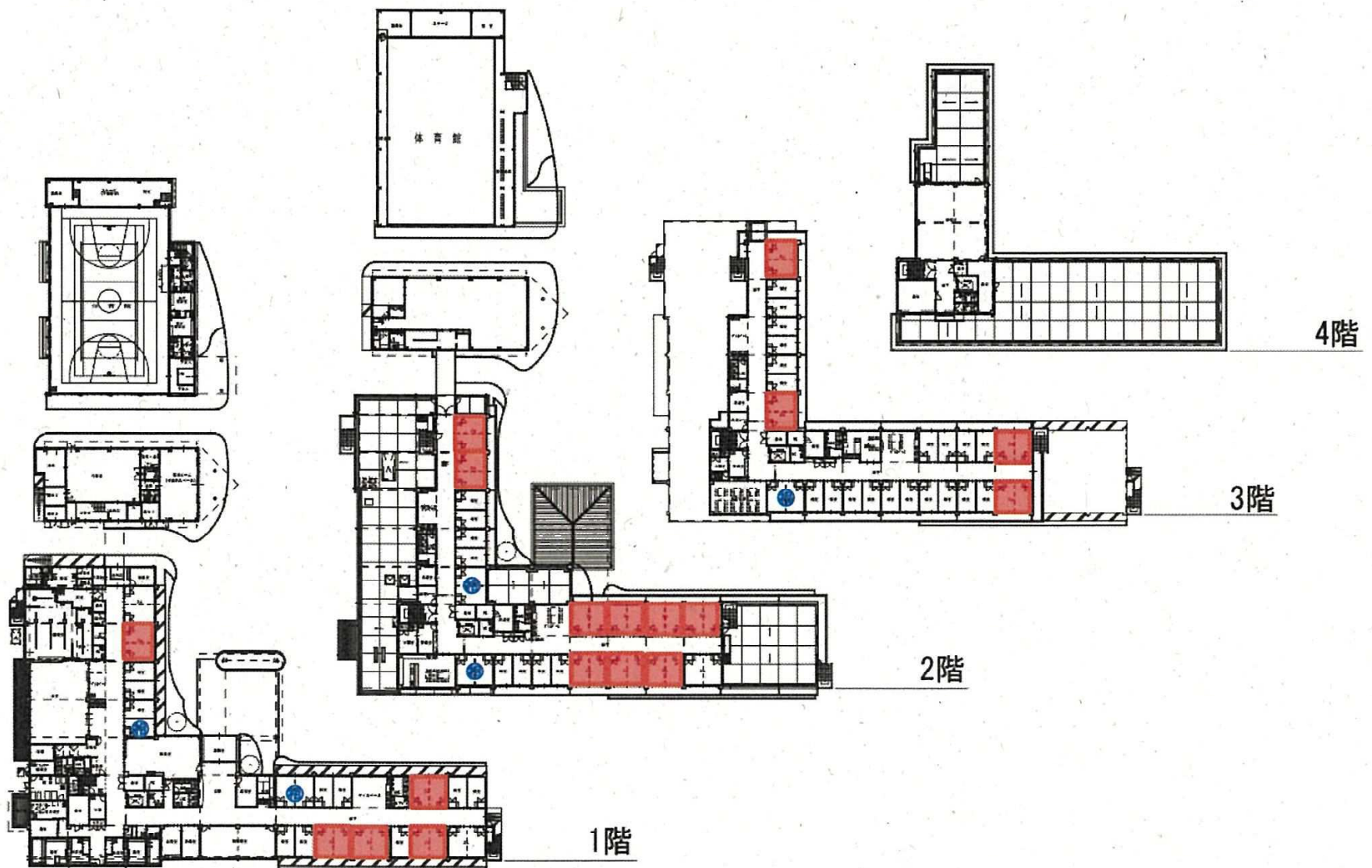
審査会	令和 年 月 日審査		
施設名	ゆりはま大平園	施設種別	救護施設
(現所在地) 建設予定地	鳥取県東伯郡湯梨浜町長和田1835番地1	整備区分	大規模修繕等
民間補助金の有無	有・無(有の場合は、国庫補助とのすみ分けを示す色分け平面図)		
施設整備を必要とする理由	<p>1. 施設の必要性の調査など実態把握に基づく整備の必要性                  (待機者の状況、在宅サービスの活用状況等当該施設の整備が必要であるとする客観的理由を具体的かつ簡潔に記載すること)</p> <p>ゆりはま大平園は、平成17年1月に個室32室、多床室(2人)48室にて施設開設した。開設当初と比べ、近年は利用者の高齢化・重度化の著しい進行により、少しずつではあるが個室化改修を行い施設環境の改善に努めてきた。2020年1月に新型コロナウイルス感染症が初めて確認されて以降、個室改修を進めてきたが、令和4年12月現在、21室の多床室が残っている。このような状況下において、万一施設利用者の中から陽性・濃厚接触者が確認された場合、居室内での療養・待機を余儀なくされる状況に陥ることが想定されるため、残存する多床室21室のうち、18室の区分けを現在のカーテンから石膏ボード壁に改修し、感染予防とプライバシーの確保を図り、施設環境の向上を図りたい。(残り3室の改修については他補助金の対象事業として申請予定)</p>		
	<p>2. 整備予定地の選定理由                  (施設の分布状況、用地確保状況、関係市町村意見及び地域住民の意見等の調整状況などを踏まえて、当該施設の整備が必要であるとする客観的理由を具体的かつ簡潔に記載すること)</p> <p style="text-align: center;">—</p>		
	<p>3. 上記の外に緊急に整備を必要とする理由</p> <p style="text-align: center;">—</p>		



**ゆりはま大平園 居室間仕切(18室:1F\*5室、2F\*9室、3F\*4室)工事**

◆令和5年度鳥取県社会福祉施設等施設整備(国庫補助対象) 申請予定

⊕ = 相談室として設置認可



大規模修繕及びスプリンクラー設備等整備計画協議書(全体計画分)

都道府県(市)名		鳥取県		優先順位	位	施設建設地	鳥取県米子市石井1223-1				
事業(施設)種別		多機能型事業所 (生活介護・就労継続支援B型・就労移行・施設入所支援)				整備区分	大規模修繕				
施設名	米子ワークホーム				設置主体	福 光生会					
現在 定員	通所定員	40人	(現在員 38人)	整備 後定員	日中活動部門		40人	着工	2023年 8月		
	入所定員	34人	(現在員 27人)		施設入所・宿泊型部門		34人				
	共同生活援助		人(現在員 人)		共同生活援助(身体・知的・精神)		人	予定年月			
	障害児施設 ( )	入所定員			人	障害児施設 ( )	入所定員		人	竣工	2023年 9月
		通所定員			人		通所定員		人		
	短期入所(加算も記載)				人	短期入所(加算も記載)			人	その他	発達障害者支援センター有(無)
	その他( )				人	その他( )			人		エレベーター等設置整備有(無)
対象経費 の実支出 予定額	区分				計						
	工事費				7,480,000円						
	工事事務費(大規模修繕の場合に限る)				円						
	合計				7,480,000円						
国庫補助基準額と対象経費の実支出額の少ない方の額 × 県補助率						5,610,000円					
国庫補助 所要額	都道府県(市)補助(予定)額				5,610,000円						
	国庫補助基本額				5,610,000円						
	国庫補助所要額				3,740,000円						
財 源	国庫補助金	設置者負担金							計		
		機構借入	寄付金	県(市)単独補助	地元市町村単独補助	その他(自己資金)					
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	3,740	1,870				374	1,496	1,870			

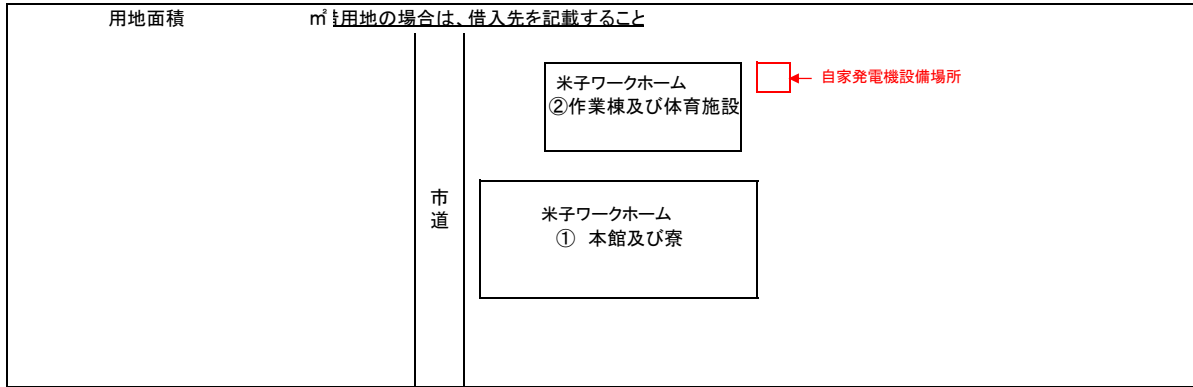
## 施設の配置図及び施設の経歴

都道府県市名	鳥取県
法人名	社会福祉法人 光生会
施設名	米子ワークホーム

(A) 沿革(施設の発足から今日に至るまでを簡単(箇条書き)に記載すること。)

昭和44年 2月 厚生大臣より社会福祉法人米子授産事業会認可  
 昭和46年 4月 日本船舶振興会より補助を受け、米子授産所開設  
 平成 8年 4月 国庫補助事業として移転改築し、法人名を光生会、施設名を米子ワークホームと改称する  
 平成 9年12月 日本自転車振興会より補助を受け、体育施設新築  
 平成16年 8月 国庫補助事業として、米子ワークホーム作業所の増築を行う  
 平成23年 4月 旧法の「身障授産施設」から「障がい者支援施設」として新事業体系へ移行  
 また、国庫補助事業として、障がい福祉サービス事業所「ワークなごら」を開設

(B) 配置図



(注) 整備後の施設配置についても朱書で記入すること。

(C) 施設の経歴

利用定員: 施設入所支援 34名 生活介護事業 10名 就労継続支援B型 24名

整理番号	建物の名称	構造	所有の状況	延面積(m <sup>2</sup> )	補助の状況		説明
					補助金名	年度金額(千円)	
1	本館及び寮	鉄筋平屋	自己所有	1,542.83	社会福祉施設施設整備費補助金	平 8 256,677	平成8年新築 (11月1日現在入所27名 通所19名)
2	体育施設	鉄筋平屋	自己所有	176.87	日本自転車振興会助成	平 9 21,244	平成9年新築
3	作業棟	鉄筋平屋	自己所有	163.80	社会福祉施設等施設整備費補助金	平 16 33,633	平成16年新築
4	非常用発電機更新工事		自己所有	1.28	社会福祉施設等施設整備費補助金	令 4 3,740	大規模修繕
5							
	合計			1,884.78		315,294	

(注) 1 配置図及び経歴は、記載例のとおり詳細確実に記入すること。

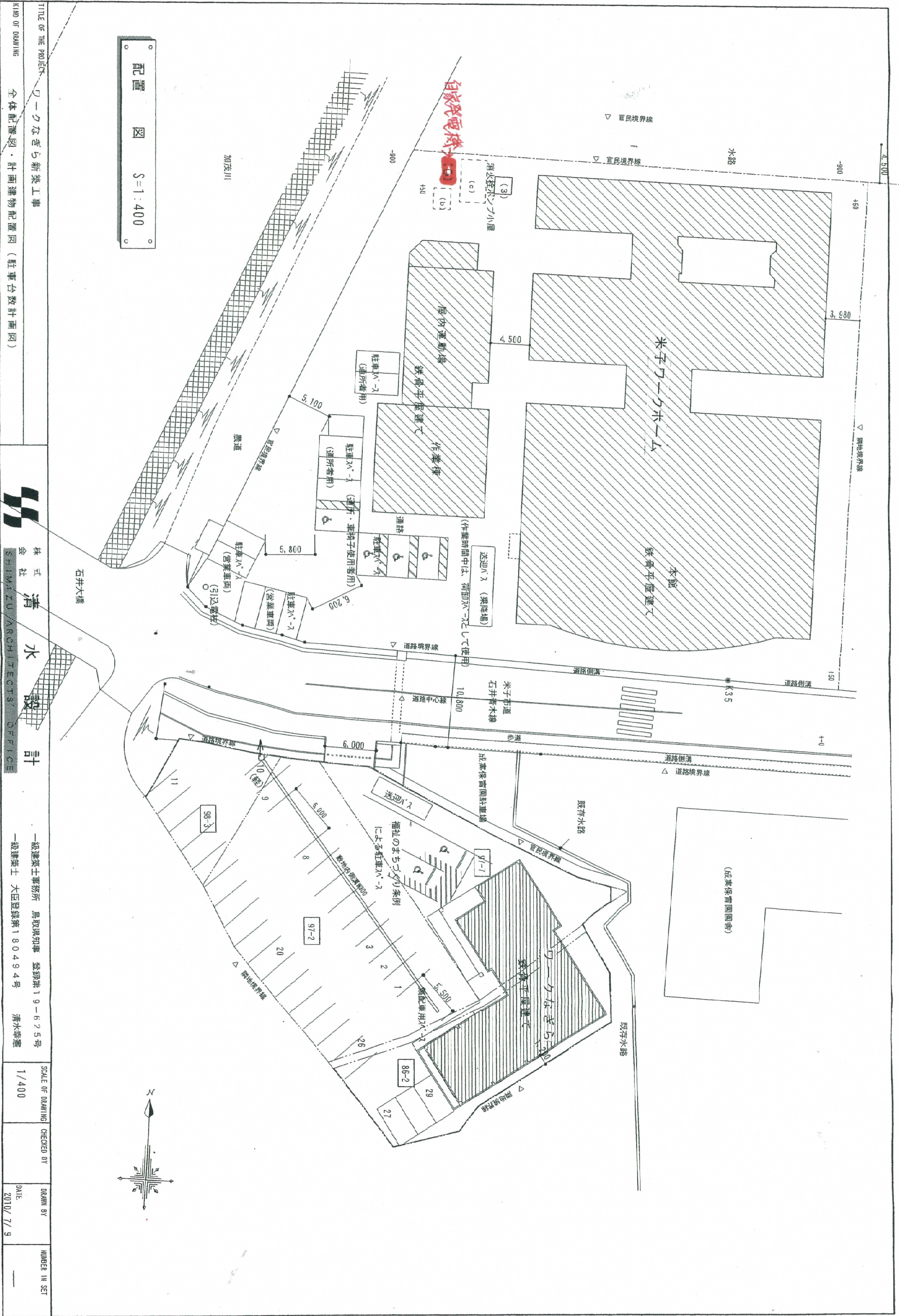
2 今回協議部分は朱書し、一見して他と判別できるようにすること。

(D) 用地の状況(洪水浸水想定区域・地すべり防止区域等危険区域内である場合は、その名称、指定年月日及び防災措置の状況を記入すること。)



## 令和4年度社会福祉施設整備事業計画書

審査会	令和4年11月17日審査		
施設名	米子ワークホーム	施設種別	多機能型事業所
(現所在地) 建設予定地	鳥取県米子市石井1223番地1	整備区分	大規模修繕
民間補助金の有無	有(無)有の場合は、国庫補助とのすみ分けを示す色分け平面図)		
施設整備を必要とする理由	<p>1. 施設の必要性の調査など実態把握に基づく整備の必要性</p> <p>(待機者の状況、在宅サービスの活用状況等当該施設の整備が必要であるとする客観的理由を具体的かつ簡潔に記載すること)</p> <p>当施設は、障害者支援施設であり、消防法で屋内消火設備の設置が義務付けられている。停電時火災の際、屋内消火設備の稼働において、自家発電機設備はなくてはならない。</p> <p>また、当施設は、福祉避難所に指定されている。さらに、障がい者の日中活動の場として、約35名が施設を利用し、休日・夜間支援では、27名が施設内の寮で生活している。24時間365日、福祉施設としての機能を継続する上で、災害時でも、障がいのある方が安心して生活できる環境を提供する上で、自家発電機の整備は必要である。</p> <p>2. 整備予定地の選定理由</p> <p>(施設の分布状況、用地確保状況、関係市町村意見及び地域住民の意見等の調整状況などを踏まえて、当該施設の整備が必要であるとする客観的理由を具体的かつ簡潔に記載すること)</p> <p>現在の自家発電機を設置している場所は、数年前より地盤が傾き、基礎コンクリートが傾斜している。機械本体の更新時には、現在の設置場所では、地盤の整備等で経費もかかるため、すでに整備してある場所を利用し、移設して設置する。</p> <p>3. 上記の外に緊急に整備を必要とする理由</p> <p>今年8月の落雷停電の際に、自家発電機が故障。現在は応急的処置を行い、何とか緊急時に稼働できる状態ではある。現在の自家発電機は、平成8年の施設建設時に設置し、26年が経過し、全体的に老朽化が見られ、本格的な修理を行うための部品の調達も困難であり、機械本体の更新が必要である。</p>		



配置図 S=1:400

TITLE OF THE PROJECT: ワークながら新築工事  
 KIND OF DRAWING: 全体配置図・計画建物配置図 (駐車台数計画図)  
 株式会社 清水設計 SHIMIZU ARCHITECTS' OFFICE  
 一般建築士事務所 鳥取県知事 登録第19-625号  
 一般建築士 大臣登録第180494号 清水幸憲  
 SCALE OF DRAWING: 1/400  
 CHECKED BY: \_\_\_\_\_  
 DRAWN BY: \_\_\_\_\_  
 DATE: 2010/7/9  
 NUMBER IN SET: \_\_\_\_\_  
 打出日: H.22.7.13



大規模修繕及びスプリンクラー設備等整備計画協議書(全体計画分)

都道府県(市)名		鳥取県		優先順位	位	施設建設地	鳥取県東伯郡湯梨浜町長和 田 1835-1		
事業(施設)種別		救護施設				整備区分	大規模修繕等		
施設名	ゆりはま大平園			設置主体	〔福〕 敬仁会				
現在 定員	通所定員	人(現在員)	人	整備 後定員	日中活動部門		人	着工	R5年8月
	入所定員	人(現在員)	人		施設入所・宿泊型部門		人		
	共同生活援助	人(現在員)	人		共同生活援助(身体・知的・精神)		人	予定年月	
	障害児施設( )	入所定員	人		障害児施設( )	入所定員	人	竣工	R6年2月
		通所定員	人			通所定員	人	予定年月	
	短期入所(加算も記載)	人			短期入所(加算も記載)	人	その他	発達障害者支援センター	:無
	その他( )	人			その他( )	人	その他	エレベーター等設置整備	:有
対象経費 の実支出 予定額	区分				計				
	工事費				15,070,000円				
	工事事務費(大規模修繕の場合に限る)				円				
	合計				15,070,000円				
国庫補助基準額と対象経費の実支出額の少ない方の額 × 県補助率				円					
国庫補 助所 要額	都道府県(市)補助(予定)額				11,302,000円				
	国庫補助基本額				7,535,000円				
	国庫補助所要額				7,535,000円				
財 源	国庫補助金		県(市)補助金		設置者負担金				
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	7,535	3,767					3,768	3,768	

## 施設の配置図及び施設の経歴

都道府県市名	鳥取県
法人名	社会福祉法人敬仁会
施設名	ゆりはま大平園

(A) 沿革(施設の発足から今日に至るまでを簡単(箇条書き)に記載すること。)

平成17年1月21日 救護施設ゆりはま大平園(定員80名) 開設  
現在に至る

(B) 配置図

⌘地面⌘ 8,854.00 m<sup>2</sup> (借用地の場合は、借入先を記載すること。)

別添、配置図・平面図記載のとおり

(注) 整備後の施設配置についても朱書で記入すること。

(C) 施設の経歴

整理番号	建物の名称	構造	所有の状況	延面積(m <sup>2</sup> )	入所(利用)定員 名			説明
					補助金名	年度	金額(千円)	
1	本館	RC4階	自己所有	3,909	国庫補助金	平 15	452,637	平成17年新築 (令和3年3月1日現在 入所88名)
2	作業棟	鉄骨2階	自己所有	586	国庫補助金	平 15	上記に含む	平成17年新築
3	体育館	鉄骨2階	自己所有	882	国庫補助金	平 15	上記に含む	平成17年新築
	合計			5,377			452,637	

(注) 1 配置図及び経歴は、記載例のとおり詳細確実に記入すること。

2 今回協議部分は朱書し、一見して他と判別できるようにすること。

(D) 用地の状況(洪水浸水想定区域・地すべり防止区域等危険区域内である場合は、その名称、指定年月日及び防災措置の状況を記入すること。)

湯梨浜町地域防災計画 令和2年2月改定  
計画規模(1/50年確率規模): 河川氾濫浸水深0m  
想定最大規模(1/1000年確率規模): 河川氾濫浸水深0.5m~3.0m  
台風その他豪雨が予測される場合、情報収集・避難準備を行い必要時には上階に避難する。

## 令和5年度社会福祉施設整備事業計画書

審査会	令和 年 月 日 審査		
施設名	ゆりはま大平園	施設種別	救護施設
(現所在地) 建設予定地	鳥取県東伯郡湯梨浜町長和田1835番地1	整備区分	大規模修繕等
民間補助金の有無	有・無(有の場合は、国庫補助とのすみ分けを示す色分け平面図)		
施 設 整 備 を 必 要 と す る 理 由	<p>1. 施設の必要性の調査など実態把握に基づく整備の必要性</p> <p>(待機者の状況、在宅サービスの活用状況等当該施設の整備が必要であるとする客観的理由を具体的かつ簡潔に記載すること)</p> <p>当該施設では、開設当初から給湯機チラー(W:2.0m * D:0.9m * H:2.0m)2台にて施設運営していたところ、令和4年7月に機器異常(塩害によるチラー架台及び内部配管の腐食、コンプレッサー異常)が確認された。</p> <p>当該機器は、設置から17年経過することから、メーカーによる現地調査を行ったところ、「架台腐食により内部機器の脱落の危険性が極めて高い。相当の年数経過により、一部部品の供給が終了(設置から約20年で部品供給は完全に終了する見込み)している。」との報告があり、現在は、応急処置にて稼働しているが、今後も各所故障が頻発すれば十分な給湯量・温度が確保できないおそれがあるため、当該機器を塩害対応仕様の機器に更新し、サービスの安定化を図りたい。</p>		
	<p>2. 整備予定地の選定理由</p> <p>(施設の分布状況、用地確保状況、関係市町村意見及び地域住民の意見等の調整状況などを踏まえて、当該施設の整備が必要であるとする客観的理由を具体的かつ簡潔に記載すること)</p> <p style="text-align: center;">—</p>		
	<p>3. 上記の外に緊急に整備を必要とする理由</p> <p>現給湯機は機器故障により、幾度か貯湯タンク内湯温が40℃以下になったこともあり、都度応急処置を施してきたが、厚生労働省通達ではレジオネラ菌繁殖防止のため貯湯タンク内湯温は60℃以上に保つよう指導されていることもあり、利用者の安全を確保するためにも機器の更新が必要である。</p>		

